

2022 年度 ユリウス〈公立中高一貫校受検プラン〉特別講座

新 6 年 “取り出し” プログラム

4 科型の塾で学びながら「公立中高一貫校」受検をお考えの(新 6 年生)に最適な学習プラン

- ◆適性検査でも必要な 4 科目の学力育成は「これまでどおりの塾で」（私立受験の学びを継続）
- ◆適性検査ならではの問題形式にあわせた学習をオンライン指導で（私立受験との両立・時間の有効活用）

公立中高一貫校受検においても、教科の思考技法を学び続けることが大切です。その上で、適性検査型の問題演習で思考のプロセスをアウトプットする経験を重ねていくことが合格に向けて必要になります。ユリウスでは、私立受験の学習と両立しながら適性検査型学習の準備ができる学習プランをご用意しています。

この「新 6 年“取り出し”プログラム」は、ユリウスが展開する公立中高一貫校学習プログラムの中から記述作文・適性検査問題演習を「取り出し」編成してあります。日能研が監修・製作した「公立一貫校プログラム」の「6 年準備コース」テキストと、ユリウスが公立中高一貫校に必要な文章力を養うために作成したオリジナルテキストを用いて適性検査でよく出題されるテーマに触れ、「考える」「表現する」ことを学びます。それぞれの回においてテーマになっている知識・技術の獲得と、解答プロセスの習得をめざしていきます。Zoom アプリを使用した「オンライン」形式ですので、時間の有効活用にもつながります。

- 開講期間 2022 年 2 月～7 月(期間途中からのお申込みも可能です)
- 開講日時 毎週水曜日 16:50～19:20 (70 分授業×2 コマ)
- 授業形式 オンライン授業
- 費用(税込) 月額 15,730 円 (授業料 12,980 円・第 5 教科 2,750 円)
- 申 込 下記ユリウスフリーアクセスまでお問い合わせください。

* 日割・回数割によるお申し込みはできません。月途中からご入会の場合も金額は変わりません。

* お申し込み順に定員になるまで受付いたします。定員になり次第締め切らせていただきます。

* オンライン授業には zoom を使用します。カメラ・マイク付きのパソコンまたはタブレットが必要です。通信料はお客様負担です。ご利用にあたり端末や通信回線の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

* 学校の授業時間・長期休暇の変更、災害・社会情勢の変化等により、やむを得ず授業日時・授業形態を変更する場合があります。

ご質問・ご相談がございましたら、ユリウスフリーアクセス TEL 0120-355-194 までお問い合わせください。

ユリウスの適性検査対策

6年前期は、各分野においての適性検査型の問題・記述作文などを扱っていきます。

テキスト：6年準備コース

適性検査でよく出題されるテーマの中でも抽象的な素材にふれ、「考える」「表現する」ことを学びます。



第1回 レクリエーション(1)

ポイント

みなさんはレクリエーションということばを聞いたことがありますか。レクリエーションは英語ですが、日本語にすると「仕事や勉強でつれたときに心や体を休め、元気にになれるような遊び」となります。小学校では、レクリエーションの時間にゲームやクイズ、スポーツなどを行うことも多いようですね。今回は、おもに頭を使うゲームやクイズを身につけていきたいと思えます。では、「ルールをよく読んで」チャレンジしましょう！

1) ルールについて考える

ゲームにはかならず何らかのルールがあります。ルールがなければゲームは進みませんし、やっても面白くもありません。決められたルールの中で「どうやったらうまくできるかな?」と知恵を凝らして考えるからこそ、できたとき・勝ったときの喜びも大きいのです。そして、いつものありふれたゲームでも、ちょっとルールを変えるだけで、すごく楽しくなったり、いつもより盛り上がったりすることがあります。ここでは「じゃんけん」を題材にして、ルールについて考えてみましょう。

じゃんけんの基本的なルール

グー	チョキ	パー

- ・グーはチョキに勝つ
- ・チョキはパーに勝つ
- ・パーはグーに勝つ
- ・同じものを出したら「あいこ」とする

まず、じゃんけんの基本的なルールを上のようにまどめてみました。「こんなあたりまえだよ!」と思った人もいるかもしれませんね。でも、あたりまえにみんなが知っているじゃんけんのようなものであっても、それをほじめてやる人に説明したらどうでしょうか。上のようなルール説明もやはり必要ですね。だれもが知っているようなゲームについて、「自分だったらどうやって説明するか?」と想像してみてください。例えば、「かくれんぼ」や「だるまさんがころんだ」などを、まったく知らない人に説明したらどうするか考えてみましょう。

次は、大人気でじゃんけんをする時のことを考えてみましょう。

ルールその1

16人でじゃんけんをして、勝者をひとり決めたいと思います。まず、できるとに2人ずつ組になってじゃんけんをします。じゃんけんをして、あいこになったら勝敗が決まるまでじゃんけんをくりかえします。勝敗が決まると1試合として数えます。すべての2人組の勝敗が決まったら、勝った人どうしてまた、2人ずつ組になってじゃんけんをします。この方法でじゃんけんをくりかえします。

ルールその1にしたがってじゃんけんをしたら、全部で何試合必要でしょうか。次の図をまどこうにして考えると、15試合ということになります。

→32人で行う場合や、さらに多い64人で行う場合も考えてみて下さい。

同じように、16人でじゃんけんをして勝者をひとり決めたいのに、次のようなルールでおこなうこともできます。

ルールその2

16人でじゃんけんをして、勝者をひとり決めたいと思います。まず、できるとに2人ずつ組になってじゃんけんをします。じゃんけんをして、あいこになったら勝敗が決まるまでじゃんけんをくりかえします。勝敗が決まると1試合として数えます。すべての2人組の勝敗が決まったら、勝った人どうしてまた、2人ずつ組になってじゃんけんをします。ここからは、1回のじゃんけんであいこになったら、勝敗が決まらなかったものとして、その先には議めないことにします。この方法でじゃんけんをくりかえします。

ルールその1とどこがらうのかわかりましたか? またルールその1とルールその2をくらべたとき、あんなだったらどっちのルールのじゃんけんに参加したいですか。また、そう思った理由は何かののかも、考えてみましょう。

テキスト：記述作文

文章に触れ、自分の考え・他者の考えについて説明する力を身につけるための問題演習に取り組みます。

私立・公立中高一貫校 中学受験コース

記述作文

【授業用テキスト】

6年前期 Vol.1 (第1回~第5回)

演習問題①

鳥はつばさをもつことによって、空を飛ぶことが可能になった。このことは、いつでも、どこへでも、直ちに、短時間で、最短距離を移動できるということでも、その生存上の意義はきわめて大きい。鳥類が、人類と同じく地球上のいたるところに分布を拡大し、繁栄し続けているのも当然であろう。今のところ、鳥がすめないのは、深い水の中と土のただけである。そのような能力をもつ鳥類が、どうしてまた渡りのような、危険が多く多大の労力を費やす移動を毎年くり返さなければならぬのだろうか。

渡りに深く関係する要素には、気候・食物・繁殖などいくつかあるが、とりわけ重要なものに冬の寒さがある。寒さは多くの生物が生きていくうえで、重要な制限要因となる。どの生物も、おのの生活に適した温度があるので、それをこえる寒暑が生じると、生存が危険にさらされることになる。とりわけ冬の寒さはその度合いが大きい。渡りは冬の寒さをさけるための行いともいえる。

寒さに追われて南下するのはよくわかるが、では北上するのはなぜであろう。それは、鳥には自分の生まれた場所に強く固執する習性があるからである。では、なぜ北極に近い高緯度地方でも繁殖するかと、高緯度地方は冬は酷寒の地であるが、夏には気温も上がり、ある種の動物には耐えられないほどではない。しかも、日照時間が長くて夜も短く、雪と氷がとけて水分も十分にあるため、短時間に膨大な数の植物や動物がいつせいに成育する。それらを食物として繁殖を図ることは、大変有利な条件に恵まれたことになる。わざわざ北上するだけの価値は十分にある。

問1 この文章に簡単な題名をつけなさい。

問2 線部①について、鳥が渡りをするのはなぜですか。十三字でぬき出して答えなさい。

問3 線部②について、渡りのとき、なぜ北上する鳥がいるのですか。その理由を二つに分けて答えなさい。